



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 株式会社 十六銀行
コード番号 8356 URL <http://www.juroku.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

(氏名) 村瀬 幸雄
(氏名) 秋葉 和人
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 058-265-2111

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	32,143	8.9	9,956	28.0	6,689	24.0
27年3月期第1四半期	29,504	△1.0	7,776	35.8	5,395	22.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 808百万円 (△93.4%) 27年3月期第1四半期 12,333百万円 (—)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	17.90	17.89
27年3月期第1四半期	14.44	12.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,235,493	359,309	5.5
27年3月期	6,088,503	360,183	5.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 343,228百万円 27年3月期 344,080百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.50	—	4.50	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 27年3月期期末配当金の内訳 普通配当3円50銭 記念配当1円00銭

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,600	△9.6	10,200	△37.2	6,400	△41.3	17.13
通期	108,000	△15.3	19,000	△50.1	11,700	△48.7	31.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	379,241,348 株	27年3月期	379,241,348 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	5,562,621 株	27年3月期	5,567,927 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	373,671,567 株	27年3月期1Q	373,683,155 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第1種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.50	—	—	5.50
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 第1種優先株式につきましては、平成27年2月26日開催の取締役会決議に基づき、平成27年3月10日に全株式を取得し、同日付で消却いたしましたので、27年3月期期末以降の配当はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(会計方針の変更)	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 平成28年3月期 第1四半期決算説明資料	8
(1) 損益状況【単体】	8
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】	9
(3) 有価証券の評価損益【単体】	10
(4) 預金等(譲渡性預金を含む)、貸出金の残高【単体】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、力強さを欠くものの、緩やかな回復が持続しました。良好な企業収益を受け、設備投資は底固く推移し、雇用・所得環境の改善が消費の回復を後押ししました。しかし、大企業の景況感に比べ、中小企業の景況感は依然厳しいものとなりました。

当行の主要な営業基盤である岐阜・愛知両県におきましても、設備投資は好調な反面、個人消費、公共投資、輸出、生産などは全体的に横ばい傾向となりました。また、有効求人倍率は高い水準を維持し、特に非製造業での人手不足感が強まりました。

こうした状況のなか、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、生命保険代理店手数料等の増加を主因として役務取引等収益が増加したことに加え、有価証券関係収益が増加したことなどから、前年同期比26億39百万円増加し321億43百万円となりました。経常費用は、貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、前年同期比4億59百万円増加し221億86百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比21億80百万円増加し99億56百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12億94百万円増加し66億89百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金等(譲渡性預金を含む)につきましては、低コストかつ長期安定的な資金を調達するとの観点から、地域に密着した積極的な営業展開を行い、個人、法人を中心に増強をはかりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の預金等残高は、前連結会計年度末比1,236億円増加し5兆4,849億45百万円となりました。

貸出金につきましては、地元企業の資金需要や住宅ローンを中心とする個人向け融資に積極的にお応えするとともに、地方公共団体向け融資の取扱いに努めました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の貸出金残高は、前連結会計年度末比14億47百万円減少し3兆8,531億47百万円となりました。

有価証券につきましては、国債、地方債等の引受、購入のほか、相場環境を注視しつつ、資金の効率的運用のための債券等の売買を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の有価証券残高は、前連結会計年度末比867億67百万円増加し1兆7,450億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)、
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当行の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は353百万円減少しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が353百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
現金預け金	399,140	453,052
コールローン及び買入手形	1,000	5,836
商品有価証券	1,457	1,591
金銭の信託	11,649	11,563
有価証券	1,658,276	1,745,043
貸出金	3,854,594	3,853,147
外国為替	13,404	4,585
リース債権及びリース投資資産	44,314	44,570
その他資産	39,724	50,229
有形固定資産	65,607	65,562
無形固定資産	8,939	9,080
退職給付に係る資産	8,080	8,320
繰延税金資産	618	642
支払承諾見返	19,906	20,806
貸倒引当金	△38,212	△38,540
資産の部合計	6,088,503	6,235,493
負債の部		
預金	5,227,369	5,351,258
譲渡性預金	133,975	133,687
債券貸借取引受入担保金	192,513	218,650
借入金	54,996	54,750
外国為替	1,074	958
社債	10,000	10,000
その他負債	46,231	47,906
賞与引当金	1,784	—
役員賞与引当金	41	—
退職給付に係る負債	5,887	5,985
役員退職慰労引当金	4	4
睡眠預金払戻損失引当金	617	513
偶発損失引当金	1,114	1,124
繰延税金負債	24,957	22,692
再評価に係る繰延税金負債	7,845	7,845
支払承諾	19,906	20,806
負債の部合計	5,728,319	5,876,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成27年 6月30日)
純資産の部		
資本金	36,839	36,839
資本剰余金	47,815	48,169
利益剰余金	167,820	172,827
自己株式	△1,539	△1,540
株主資本合計	250,934	256,296
その他有価証券評価差額金	76,288	69,991
繰延ヘッジ損益	—	123
土地再評価差額金	14,385	14,385
退職給付に係る調整累計額	2,471	2,431
その他の包括利益累計額合計	93,145	86,932
新株予約権	65	72
非支配株主持分	16,037	16,008
純資産の部合計	360,183	359,309
負債及び純資産の部合計	6,088,503	6,235,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
経常収益	29,504	32,143
資金運用収益	17,160	16,626
(うち貸出金利息)	12,423	11,594
(うち有価証券利息配当金)	4,670	4,899
役務取引等収益	4,087	4,355
その他業務収益	6,566	9,156
その他経常収益	1,689	2,005
経常費用	21,727	22,186
資金調達費用	1,310	1,340
(うち預金利息)	1,018	1,052
役務取引等費用	1,399	1,532
その他業務費用	4,545	4,499
営業経費	14,258	14,354
その他経常費用	213	460
経常利益	7,776	9,956
特別利益	308	—
固定資産処分益	23	—
持分変動利益	284	—
特別損失	20	9
固定資産処分損	6	9
減損損失	14	—
税金等調整前四半期純利益	8,063	9,946
法人税、住民税及び事業税	529	2,391
法人税等調整額	1,812	557
法人税等合計	2,341	2,949
四半期純利益	5,722	6,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	326	308
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,395	6,689

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	5,722	6,997
その他の包括利益	6,611	△6,189
その他有価証券評価差額金	6,591	△6,272
繰延ヘッジ損益	—	123
退職給付に係る調整額	20	△40
四半期包括利益	12,333	808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,968	475
非支配株主に係る四半期包括利益	365	333

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 平成28年3月期 第1四半期決算説明資料

当行の平成28年3月期第1四半期の概要について、下記のとおりお知らせします。

なお、当第1四半期末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、確定次第、開示する予定であります。

(1) 損益状況【単体】

- ▶ 実質業務純益は、国債等債券損益が増加したことなどから、前年同期比22億7百万円増加し76億38百万円となり、業務純益は21億55百万円増加し78億67百万円となりました。
- ▶ 経常利益は、実質業務純益が増加したことなどから、24億10百万円増加し91億9百万円となり、四半期純利益は16億82百万円増加し63億78百万円となりました。
- ▶ なお、経常利益および四半期純利益は第2四半期累計期間の業績予想を上回っておりますが、今後の有価証券関係損益および与信関係費用を保守的に見込んでいることなどから、業績予想の修正はありません。

(単位：百万円)

	28年3月期	増 減 (A-B)	27年3月期	28年3月期 第2四半期累計期間 業績予想
	第1四半期 (A)		第1四半期 (B)	
経常収益	25,782	2,455	23,327	42,500
業務粗利益	21,060	2,173	18,887	
(コア業務粗利益) (注1)	(17,482)	(△ 29)	(17,511)	
資金利益	15,263	△ 561	15,824	
役務取引等利益	1,761	82	1,679	
その他業務利益	4,036	2,654	1,382	
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	(3,578)	(2,203)	(1,375)	
経費	13,421	△ 34	13,455	
実質業務純益 (注2)	7,638	2,207	5,431	8,500
コア業務純益 (注3)	4,060	5	4,055	7,200
一般貸倒引当金繰入額 ①	△ 228	52	△ 280	
業務純益	7,867	2,155	5,712	8,800
臨時損益	1,244	254	990	
不良債権処理額 ②	649	41	608	
貸倒引当金戻入益 ③	—	—	—	
償却債権取立益 ④	0	0	0	
偶発損失引当金戻入益 ⑤	—	—	—	
(与信関係費用(①+②-③-④-⑤))	421	94	327	1,200
株式等関係損益	272	△ 17	289	
その他臨時損益	1,621	312	1,309	
経常利益	9,109	2,410	6,699	9,000
特別損益	△ 7	△ 10	3	
うち減損損失	—	△ 14	14	
税引前四半期純利益	9,102	2,399	6,703	
法人税等合計	2,723	717	2,006	
四半期純利益	6,378	1,682	4,696	6,000

(注1) コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益(5勘定戻)

(注2) 実質業務純益＝業務粗利益－経費

(注3) コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

➤ 金融再生法ベースの開示債権は、27年3月末比24億47百万円増加し1,146億89百万円となりました。
 また、総与信に占める割合は、27年3月末比0.06ポイント上昇し2.92%となりました。
 なお、部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合は、2.72%となります。

(単位：百万円)

	27年6月末		27年3月末	26年6月末
		27年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,742	△ 671	△ 3,056	17,798
危険債権	90,336	3,604	△ 4,200	94,536
要管理債権	9,610	△ 485	△ 2,021	11,631
合計	114,689	2,447	△ 9,277	123,966
総与信に占める割合	2.92%	0.06%	△ 0.32%	3.24%

(注) 1. 平成27年6月末の計数は、6月末基準の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

2. 当行は、部分直接償却を実施していません。

なお、部分直接償却を実施したと仮定した場合の金融再生法ベースの開示債権は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	27年6月末		27年3月末	26年6月末
		27年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,651	△ 742	△ 887	7,538
危険債権	90,336	3,604	△ 4,200	94,536
要管理債権	9,610	△ 485	△ 2,021	11,631
合計	106,598	2,376	△ 7,108	113,706
総与信に占める割合	2.72%	0.06%	△ 0.26%	2.98%

(3) 有価証券の評価損益【単体】

▶ その他有価証券の評価損益は、27年3月末比92億27百万円減少し1,005億18百万円となりました。

(単位：百万円)

	27年6月末				27年3月末		
	評価損益	27年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
					評価益	評価損	
満期保有目的の債券	159	△ 3	188	29	162	202	39
その他有価証券	100,518	△ 9,227	110,706	10,188	109,745	112,278	2,532
株式	86,840	9,672	87,705	864	77,168	78,784	1,616
債券	17,377	△ 2,028	18,564	1,186	19,405	19,768	362
その他	△ 3,699	△ 16,871	4,436	8,136	13,172	13,725	553

(注) 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

(4) 預金等(譲渡性預金を含む)、貸出金の残高【単体】

- ▶ 預金等は、27年3月末比1,245億94百万円増加し5兆5,120億35百万円となりました。
▶ 貸出金は、27年3月末比6億26百万円減少し3兆8,650億37百万円となりました。

(単位：百万円)

	27年6月末			27年3月末	26年6月末
	27年3月末比	26年6月末比			
預金等(末残)	5,512,035	124,594	201,186	5,387,441	5,310,849
うち個人預金	3,632,773	63,197	108,450	3,569,576	3,524,323
貸出金(末残)	3,865,037	△ 626	99,912	3,865,663	3,765,125
うち消費者ローン	1,356,924	25,481	121,233	1,331,443	1,235,691

(ご参考) 個人預り資産残高(単体)

(単位：百万円)

	27年6月末			27年3月末	26年6月末
	27年3月末比	26年6月末比			
預金等	3,632,773	63,197	108,450	3,569,576	3,524,323
投資信託	184,515	△ 2,294	28,564	186,809	155,951
公共債	40,997	△ 14,268	△ 54,920	55,265	95,917
個人年金保険等	435,816	11,689	56,474	424,127	379,342
合計	4,294,102	58,324	138,568	4,235,778	4,155,534